

平成30年9月期 第2四半期 決算説明会



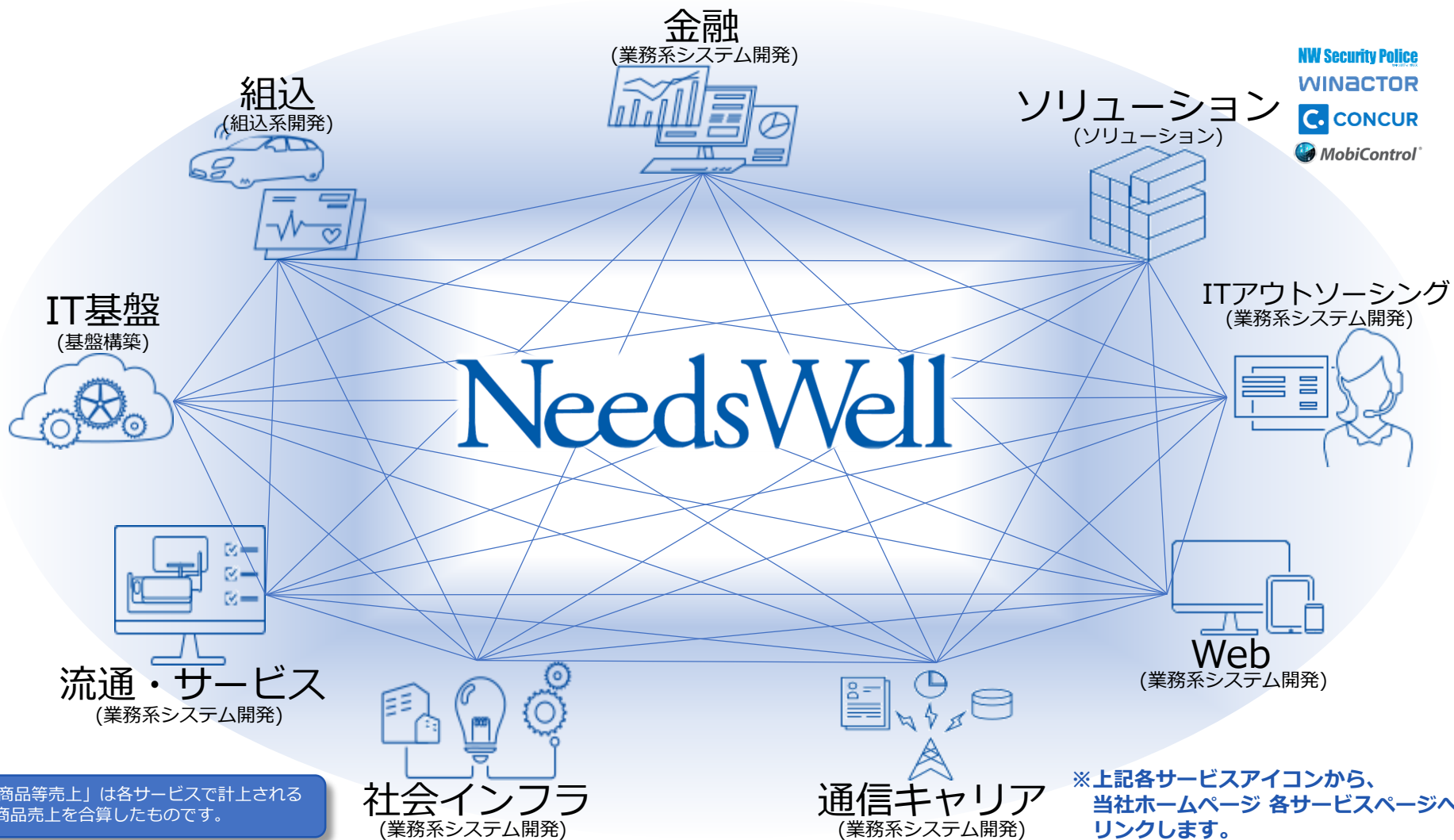
平成30年5月18日
株式会社ニーズウェル

証券コード：3992
東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

1. 成長戦略の実施状況 P4
2. 平成30年9月期 第2四半期決算概況 P12
3. 平成30年9月期 通期業績見通し P18
4. 参考資料 P22

※ 前年同期(平成30年9月期 第2四半期)は当社が株式上場前であり、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っておりません。
そのため、今回のみ主に第2四半期累計(上期)業績予想との比較を行っております。

当社は、以下の金融系システム開発を中心とした各サービスを展開しております。
これらの各サービスが有機的に結びつき、ITトータルサービスを提供しております。



※「商品等売上」は各サービスで計上される商品売上を合算したものです。

1. 成長戦略の実施状況



東京証券取引所 市場第二部への市場変更申請について



東証 二部上場へ

東証二部への市場変更申請について

当社は、昨年(平成29年)9月にJASDAQ市場への上場を果たすことができました。

更なる事業規模の拡大と社会貢献を果たすために、当社の知名度と社会的信用の更なる向上を図り、財務体質の強化と営業力の強化、優秀な人材の確保と社員モラルの高揚を促進して業績の向上に努め、より一層経営体質強化の推進を図ることが重要と考え、今回東京証券取引所 市場第二部への市場変更を申請しております。

ニーズウェルの強み

金融業界を支えるシステム開発

+

エンドユーザー・大手メーカーとの直接取引

・金融系システム開発

当社の収益の中心は、業務アプリケーション、特に金融系の業務システム開発に特化しており、売上高の50%を占めております。

金融系の中でも生命保険・損害保険分野に強みを持ち、銀行・クレジットカード・証券などの領域も多数実績があります。

汎用機、オープン系まで様々な環境ニーズにお応えします。

・エンドユーザー視点でのシステム設計

生命保険会社・大手ホテル・通信キャリアなどエンドユーザーとの直接取引が売上構成比の45%を占めています。

顧客のビジネスアークテクチャおよびビジネスフローを的確に捉えて可視化を行い、お客様のニーズに即して「業務系システム開発」「基盤構築」「組込系開発」の各分野で蓄積したノウハウを経営革新の場に活かし、ユーザー視点でのシステム設計を行います。

・幅広い業種・技術の実績とソリューション・ビジネス

システム開発20年、取引実績顧客数約300社の実績があり、幅広い業種・技術のシステム開発実績を有しています。

・業種

金融系・ホテル・通信キャリア・社会インフラ・流通サービスなど

・技術

組込系・Windows系・Web系のアプリケーション開発からサーバ構築、ネットワーク構築まで、ワンストップでのシステム構築可能。最新の技術(AI、クラウド技術、OSS関連、RPAなど)も積極的に取り入れ提案。

・高品質なシステム構築

国際規格ISO9001に準拠した品質マネジメントシステムに基づき、技術革新が急速に進む様々なプロジェクトの実績から得られたナレッジ・ノウハウを蓄積し、開発標準化を継続して進めております。

金融系
システム開発

幅広い業種
技術の実績

エンドユーザー
視点での
システム設計

成長戦略
の基礎

ソリューション
・ビジネス

高品質な
システム構築



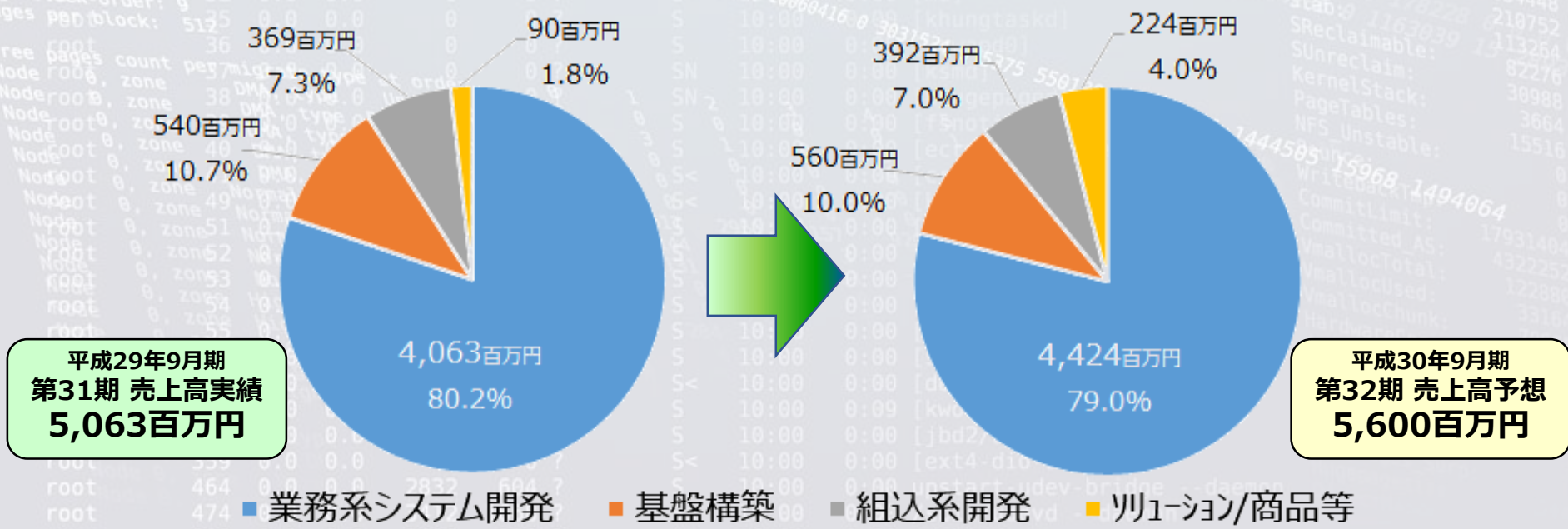
(1) 事業基盤の確立

(2) エンドユーザー取引の推進

(3) ソリューション・ビジネス立上げ

3つのサービスラインの安定的な事業基盤確立

- ① 「**業務系システム開発**」における金融系システム開発に特化（強みの最大化）
→ さらに金融系を拡大するために、**業務知識の高い技術者を養成**
- ② 「**基盤構築**」において「業務系システム開発」と連携してトータル受注による相乗効果で売上高構成比率UP
- ③ 「**組込系開発**」において拡大する医療機器、自動車関連分野を中心に売上高構成比率UP



エンドユーザー売上構成比45%以上の維持

エンドユーザーとの取引拡大戦略

➤ 既存ユーザーの維持拡大

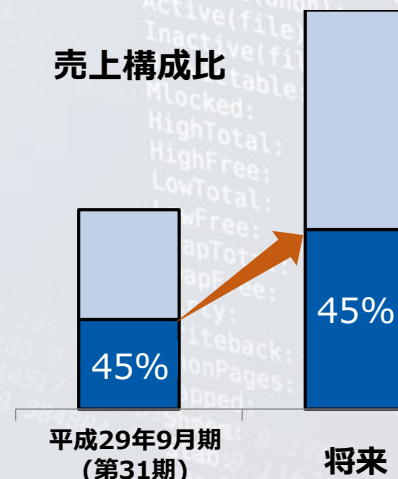
- ・ 継続案件の確保、業務知識の高い技術者の育成による担当分野の規模拡大、担当分野以外の開拓

➤ 新規ユーザーの開拓

- ・ 既存ユーザーと類似する会社へ、開発実績、業務ノウハウ等の紹介による横展開

➤ 一括請負化の推進

売上構成比



上期に開拓した新規エンドユーザーの主な実績

➤ 生命保険会社

- ・ 既存システムの見直しと新規開発案件

➤ ペット損害保険会社

- ・ 既存システムの再構築による新規開発案件

➤ 光学機器メーカー

- ・ 基幹系ユーザID・管理システム
- ・ Webサイト医療従事者、販売担当者向けサイト追加開発案件 他
- ・ RPA全社展開支援案件

➤ 化成品メーカー

- ・ 品質管理/生産管理の運用設計+ドキュメント化案件

➤ 通信関連企業

- ・ 通信関連企業での基盤構築案件

➤ 食品製造業

- ・ WinActor導入支援案件

自社ソリューション

NW Security Police

セキュリティ ポリス

情報セキュリティソリューション

他社セキュリティ製品との連携提案を進めており、
受注獲得に向け商談中

他社ソリューション

WINACTOR

業務自動化ロボット(RPA)

銀行、通信、製造業等、業界問わず多数の引き合い
を受け7社受注を獲得、その他受注獲得に向け商談中
(※受注実績を次ページにてご紹介します)



CONCUR

経費精算管理

導入サポート10数社の実績を踏まえ、銀行等へ製品
導入商談中



MobiControl

MDM(モバイルデバイス管理)

4月27日より販売開始。自社ソリューション NW
Security Police との相乗効果を創出していきます。

働き方改革を解決する RPA(業務自動化)ソリューション

WINACTOR 受注実績 : 累計7社

日清食品ホールディングス株式会社

日清食品ホールディングス株式会社 様
東証一部上場(証券コード:2897)

事業内容 :

「チキンラーメン」「カップヌードル」をはじめとするインスタントラーメンのパイオニア。
現在即席めん事業のほか、低温事業、菓子・飲料事業、海外事業を展開。
その持ち株会社である日清食品ホールディングス様は、グループ全体の経営戦略の策定・推進、
グループ経営の監査、その他経営管理を事業内容としています。

従業員 :

11,710名[連結]

当社受注内容 :

ライセンス、導入支援(シナリオ作成含む)、全社展開支援

さらに、 **6社の受注を獲得しました**

- ・ 通信業 A社
- ・ 計測器メーカー B社
- ・ 建設業 C社
- ・ 機械製造 D社
- ・ 人材派遣 E社
- ・ 医療機器製造 F社



2. 平成30年9月期 第2四半期決算概況

上期業績予想比 経常利益11.4%増、経常利益率10.3%を達成

売上高

24億70百万円

(上期業績予想比 4.2%減)

経常利益

2億55百万円

(上期業績予想比 11.4%増)



当期純利益

1億74百万円

(上期業績予想比 14.4%増)

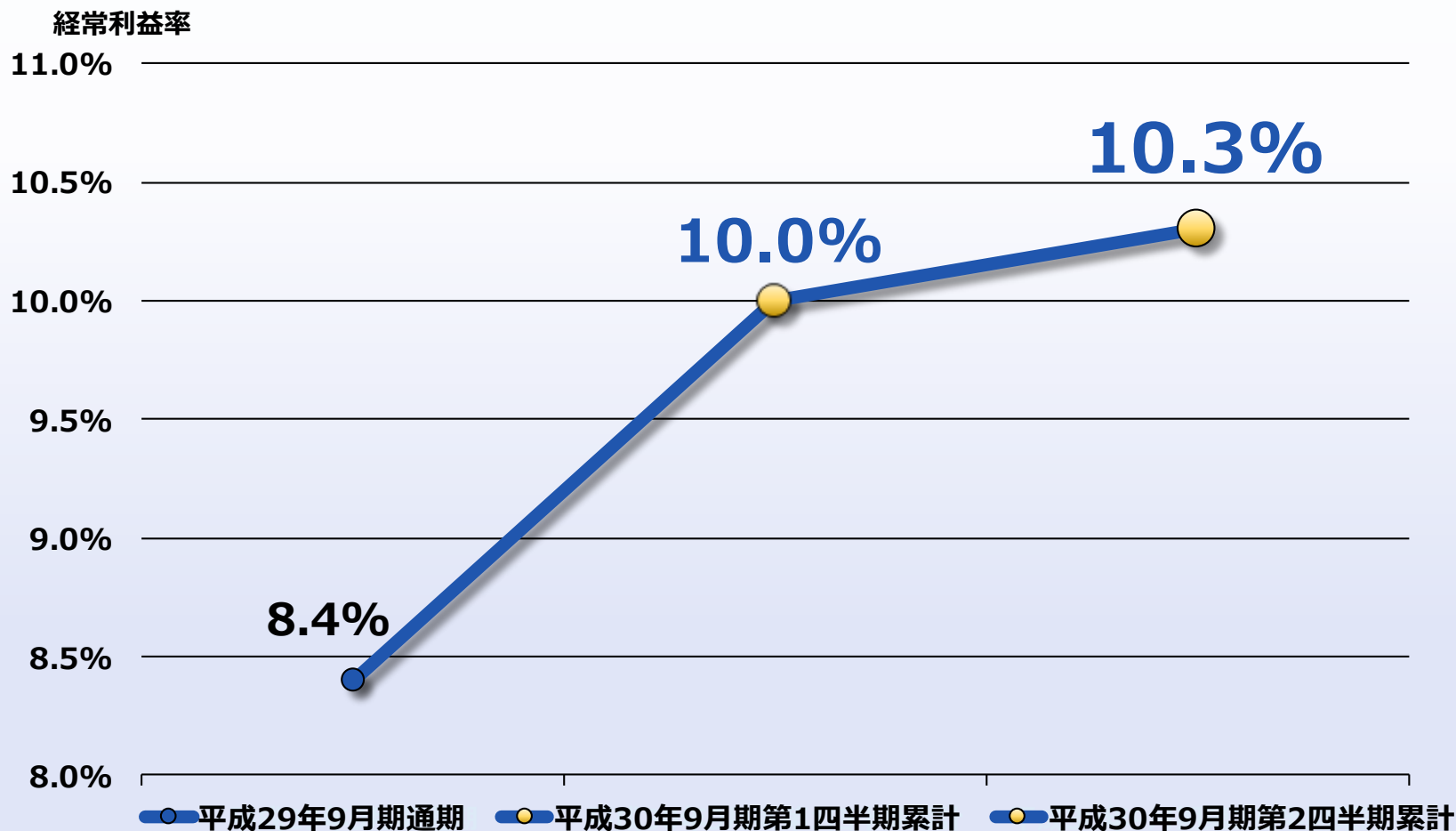
※ 前年同期(平成29年9月期 第2四半期)は当社が株式上場前であり、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

業績概要

成長戦略の着実な実行と成果

- ▶▶▶ 金融系システム開発において、高い金融系業務知識を持った技術者の育成により、新たな金融系案件の獲得と既存顧客との取引が拡大
- ▶▶▶ 製造系システム開発等の新規エンドユーザーを獲得
- ▶▶▶ 高付加価値案件獲得に加え、生産性向上にも努め、利益拡大
- ▶▶▶ RPA(業務自動化ロボット)ソリューション「WINACTOR」が好調

着実な経常利益率の向上



売上高は上期業績予想比減だが、 売上総利益率向上等により段階利益増

金額単位：百万円

	平成30年9月期 第2四半期累計期間					
	上期 業績予想	売上比	実績	売上比	予想 達成率	主な要因等
売上高	2,580	100.0%	2,470	100.0%	95.8%	上期業績予想達成率 95.8% メガバンクのシステムテスト案件終了に伴う、パートナー要員のテスト作業終了による減少、及び通信分野の既存顧客案件の減少
業務系システム開発	2,055	80.3%	1,968	79.7%	95.8%	詳細は、次ページ 「サービスライン別売上高実績」をご参照ください
基盤構築	255	10.0%	278	11.3%	108.9%	
組込系開発	193	7.5%	178	7.2%	92.3%	
ソリューション・商品等売上	76	2.1%	45	1.9%	60.2%	
売上総利益	566	21.9%	567	23.0%	100.3%	付加価値向上と生産性向上による売上総利益率の向上
販管費	336	13.0%	312	12.6%	92.9%	採用募集費、人件費等の予想比減
営業利益	229	8.9%	255	10.3%	111.3%	売上総利益率の向上、販管費の予想比減により営業利益予想比増
経常利益	228	8.9%	255	10.3%	111.4%	今期第1四半期に続き経常利益率10%を超え、10.3%の達成
四半期純利益	152	5.9%	174	7.1%	114.4%	上期業績予想達成率 114.4%

将来的な目標である経常利益率10%以上を達成！！

(1) サービスライン別売上高、上期業績予想達成率と主な要因等

金額単位：百万円

	平成30年9月期 第2四半期累計期間					主な要因等
	上期業績予想	売上比	実績	売上比	予想達成率	
業務系システム開発	2,055	80.3%	1,968	79.7%	95.8%	金融系案件の新規、既存拡大と、製造業等での新規エンドユーザーの獲得 通信分野の既存顧客案件の減少
基盤構築	255	10.0%	278	11.3%	108.9%	業務系システム開発と連携したトータル受注による相乗効果
組込系開発	193	7.5%	178	7.2%	92.3%	戦略的な受注特化に伴う要員ロスにより横ばい
ソリューション・商品等売上	76	2.1%	45	1.9%	60.2%	RPAソリューション【WinActor】の新規受注を獲得
売上高合計	2,580	100.0%	2,470	100.0%	95.8%	-

(2) サービスライン/主要サービスの状況

サービスライン/サービス	サービスライン/主要サービスの状況
業務系システム開発	
金融	
保険	生保、損保ともに案件が増加し堅調
銀行	メガバンクの大型案件終了でシステムテスト案件が減少したが、開発案件は継続受注。ネットバンク案件に期待
その他	クレジットカード、証券の案件が増加傾向
流通・通信等	通信分野の既存顧客案件が減少したが、他の通信キャリア案件のシステム開発を開始
基盤構築	業務系システム開発の顧客からの受注増で相乗効果を発揮（通信分野の顧客からの受注等で順調に推移）
組込系開発	車載機器、医療機器分野において、戦略的に受注特化を推進
ソリューション・商品等	RPAソリューション【WinActor】好調。自社ソリューション【NWセキュリティポリス】の販売戦略見直し

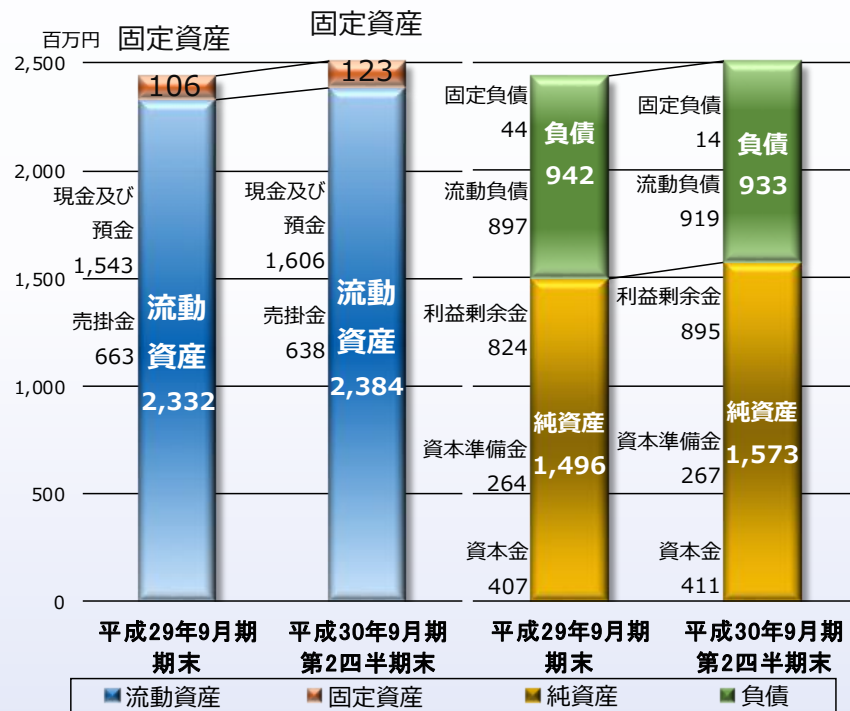
四半期純利益増により、安定した財務体質を引き続き維持

金額単位：百万円

	平成29年 9月期末	平成30年9月期 第2四半期末		
	実績	実績	前期末増減	対前期末増減の主な要因等
資産の部				
現金及び預金	1,543	1,606	62	売上高の増加等
売掛金	663	638	△24	-
流動資産合計	2,332	2,384	52	-
固定資産合計	106	123	16	-
資産合計	2,438	2,507	68	-

金額単位：百万円

	平成29年 9月期末	平成30年9月期 第2四半期末		
	実績	実績	前期末増減	対前期末増減の主な要因等
負債の部				
負債合計	942	933	△8	長期借入金の減少等
純資産の部				
株主資本				
資本金	407	411	3	新株予約権行使分の増加
資本準備金	264	267	3	新株予約権行使分の増加
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	823	894	70	四半期純利益等
利益剰余金合計	824	895	70	四半期純利益等
株主資本合計	1,496	1,573	77	-
純資産合計	1,496	1,573	77	-
負債純資産合計	2,438	2,507	68	-



流動資産は23億84百万円、固定資産は1億23百万円、資産合計は25億7百万円となり、前期末比68百万円の増加となりました。

これは主に、現金及び預金が62百万円増加、売掛金が24百万円減少等によるものであります。

負債合計は9億33百万円、純資産合計は15億73百万円となりました。

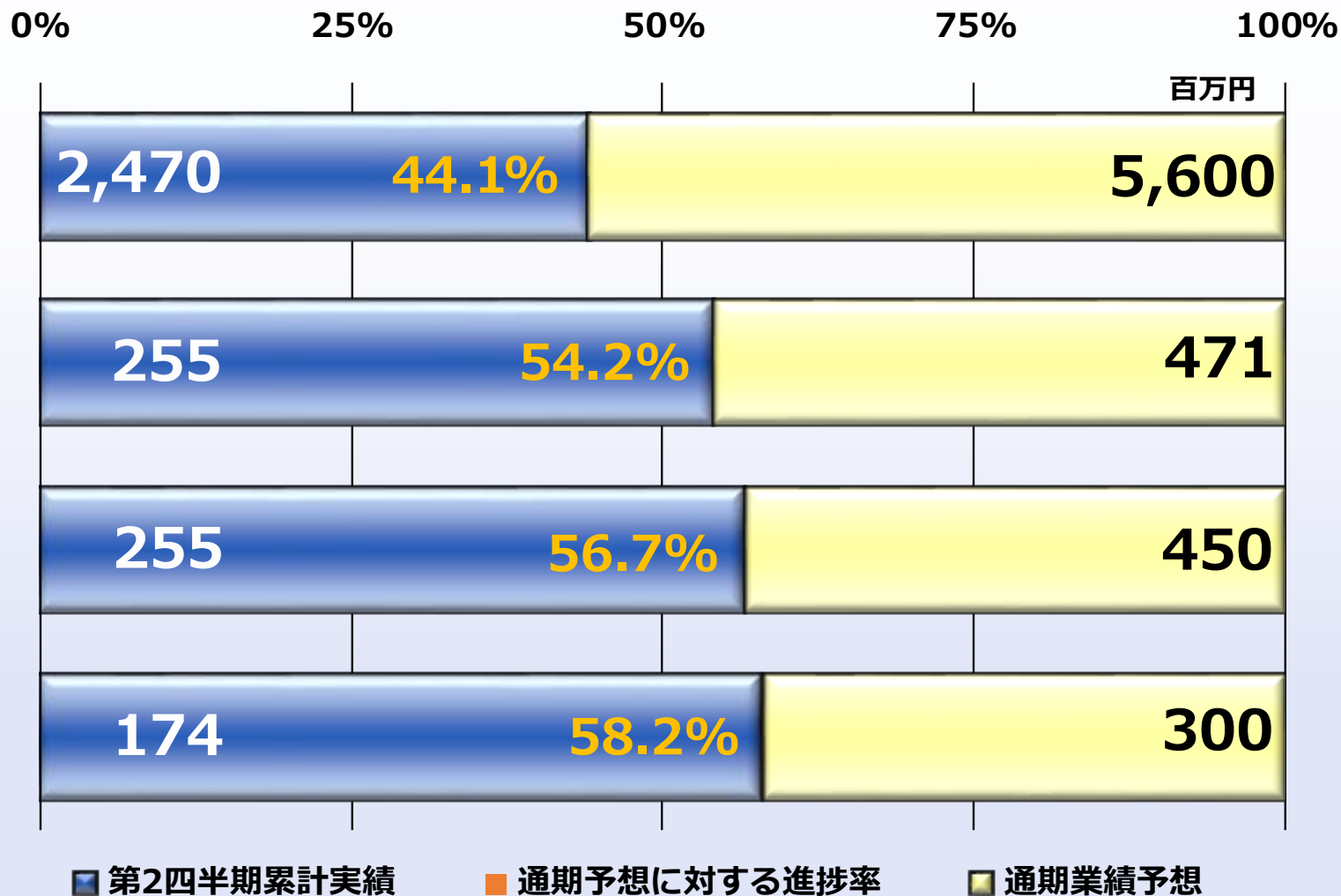
これは主に、長期借入金30百万円減少、賞与引当金22百万円増加、利益剰余金70百万円増加等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.8%となり、引き続き、安定した財務体質を維持しております。

3. 平成30年9月期 通期業績見通し



通期業績予想の修正はありません

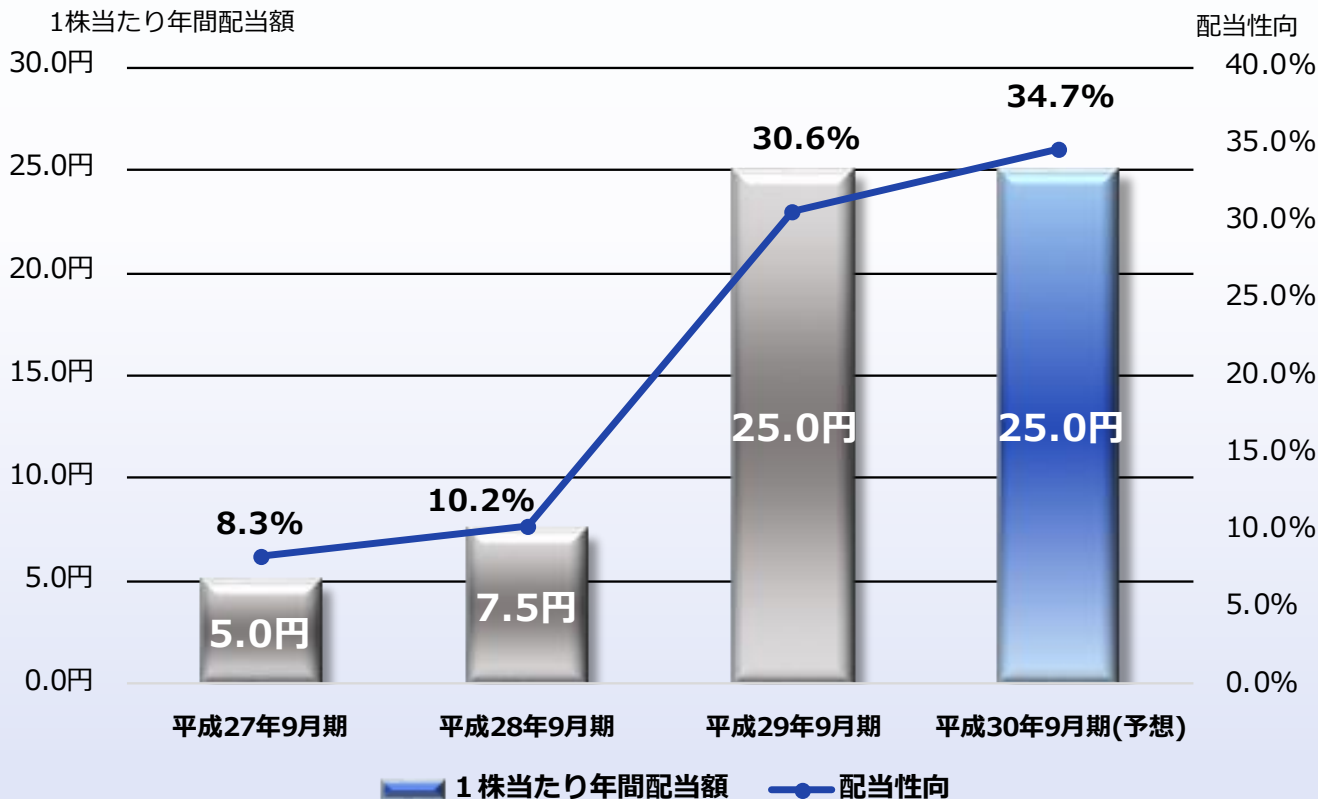


年間配当予想、配当性向予想の変更はありません

▶▶ 年間配当予想
25.0円/1株

▶▶ 配当性向予想
34.7%

※ 当社は、平成29年5月12日付で1株につき100株の割合で、平成30年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
過去の1株当たり年間配当額は、当該株式分割を考慮して算出しております。



当社の利益配分に関する基本方針

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

配当性向は30%を目途に利益還元していく予定であり、当期の年間配当金は1株当たり25.0円を予定しております。

WINACTOR デモンストレーション

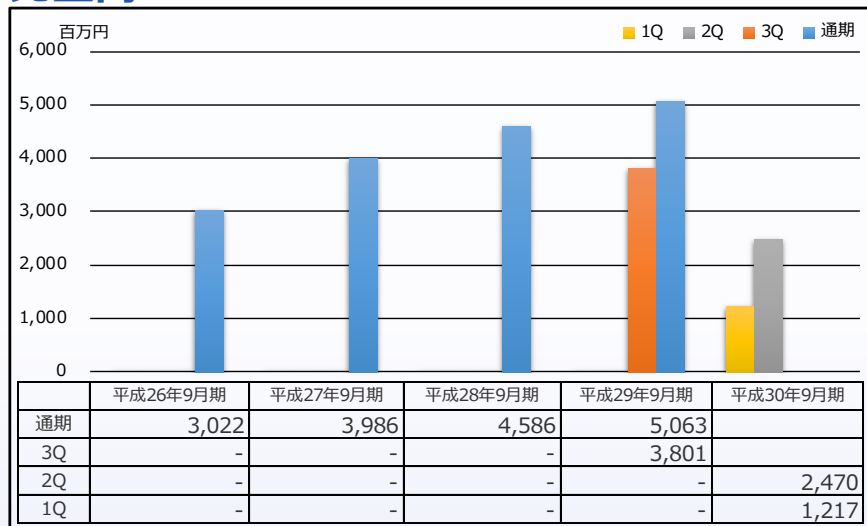


4. 参考資料

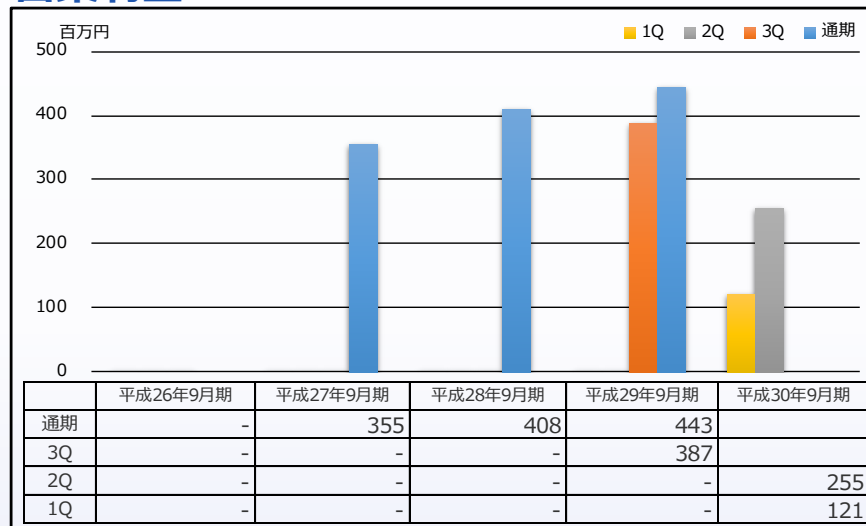
発表日	リンク	タイトル
2018年1月5日	-	ラジオNIKKEI「この企業に注目！相場の福の神」に社長・船津が出演
2018年1月16日	-	財界(2018年1月30日号/1月16日発売)に社長・船津のインタビュー掲載
2018年2月13日	適時 開示	株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想の修正に関するお知らせ
2018年2月13日	決算	平成30年9月期 第1四半期決算短信
2018年2月13日	適時 開示	平成30年9月期 第1四半期決算説明資料
2018年2月13日	PR 情報	情報セキュリティソリューション「NW Security Police」 初導入のお知らせ
2018年2月27日	PR 情報	「e文書法活用の為の業務改善セミナー」の開催について
2018年3月2日	-	リクナビ2019「理想の経営トップを探せ！」に社長・船津のインタビュー掲載
2018年4月2日	PR 情報	当社ホームページ 全面リニューアルのお知らせ
2018年4月27日	PR 情報	MDMソリューション「MobiControl」(モビコントロール)販売開始のお知らせ
2018年5月1日	PR 情報	Webアプリケーション・ネットワークセキュリティー診断サービス販売開始のお知らせ
2018年5月1日	適時 開示	非上場の親会社等の決算情報に関するお知らせ
2018年5月14日	適時 開示	株式の立会外分売に関するお知らせ
2018年5月14日	決算	平成30年9月期 第2四半期決算短信
2018年5月18日	-	平成30年9月期 第2四半期決算説明会資料

※当社は株式会社プロネクサスのE-IRサービスを利用しており、リンク先は安全が確保されています。

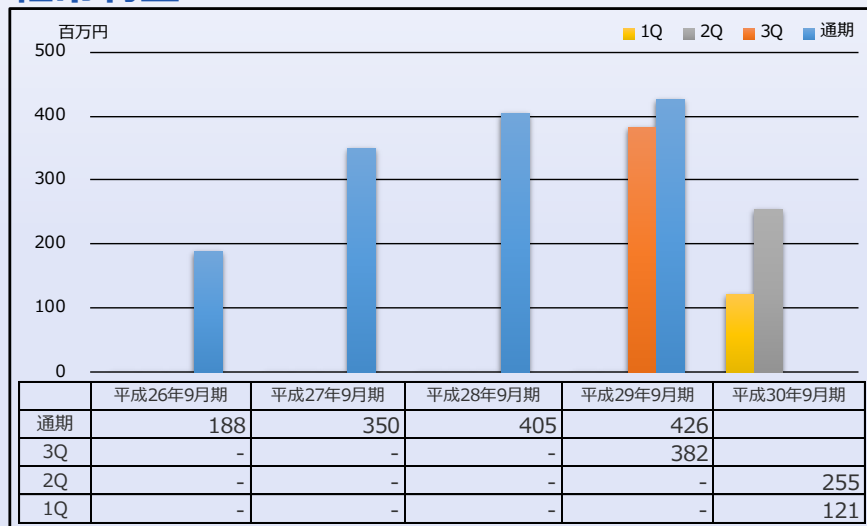
売上高



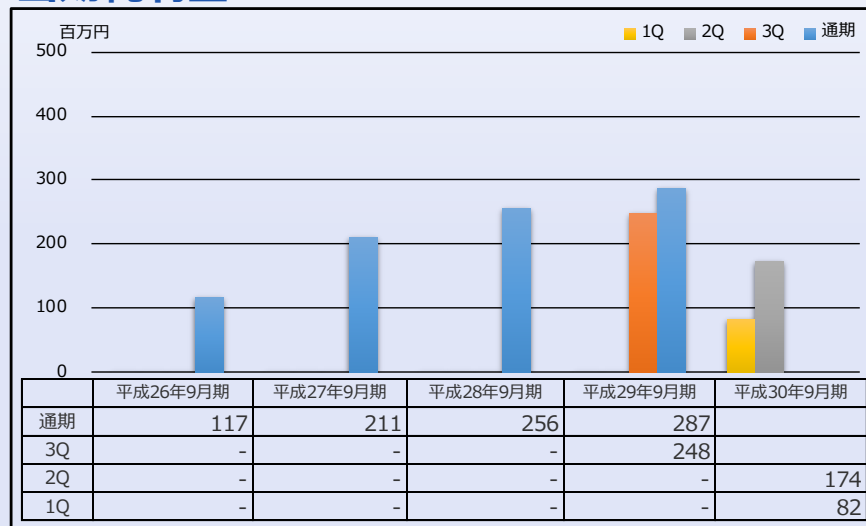
営業利益



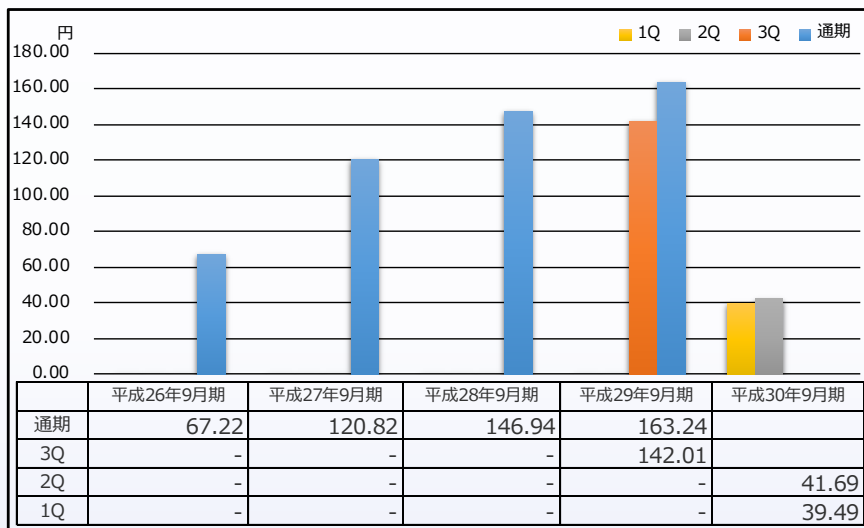
経常利益



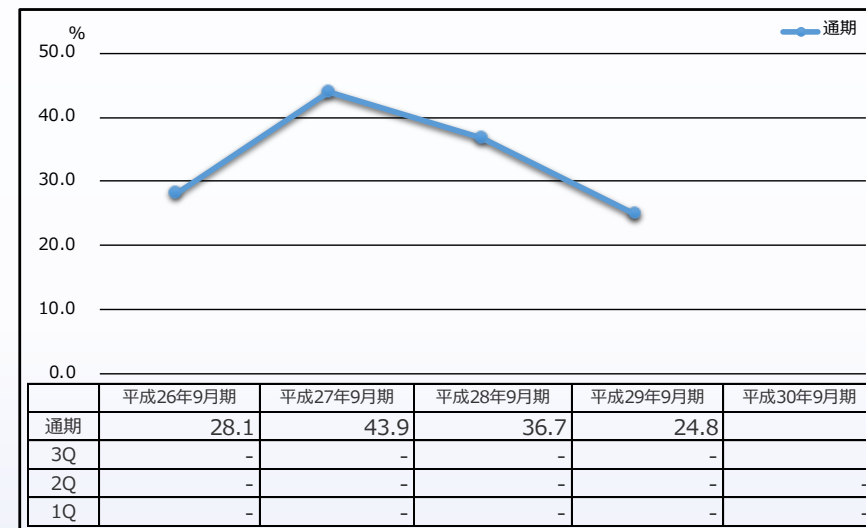
当期純利益



1株当たり当期純利益

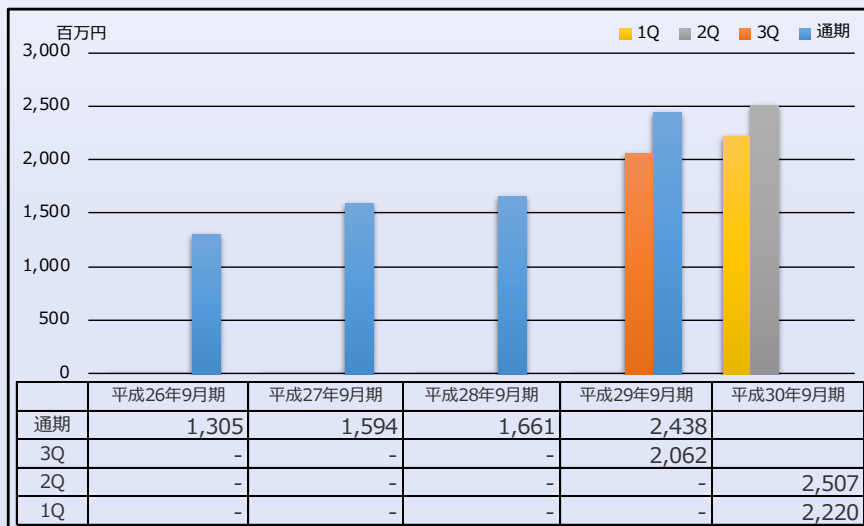


自己資本当期純利益率

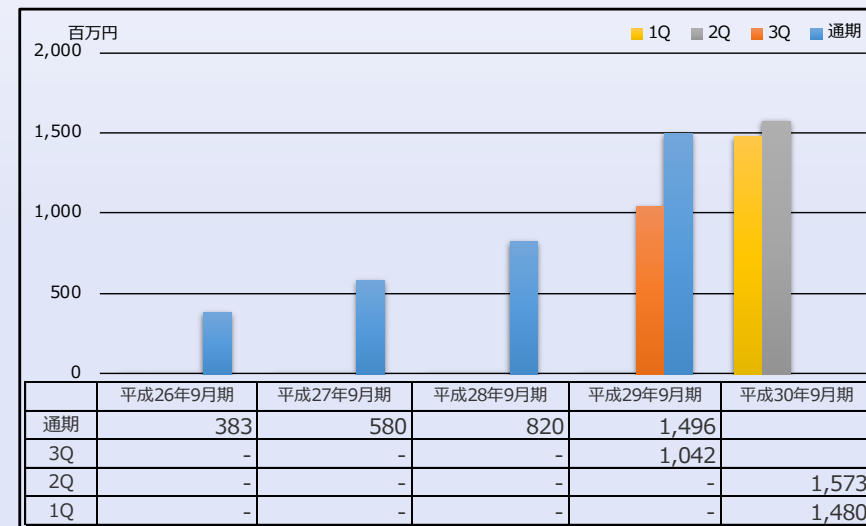


(注)本指標は通期ごとに記載

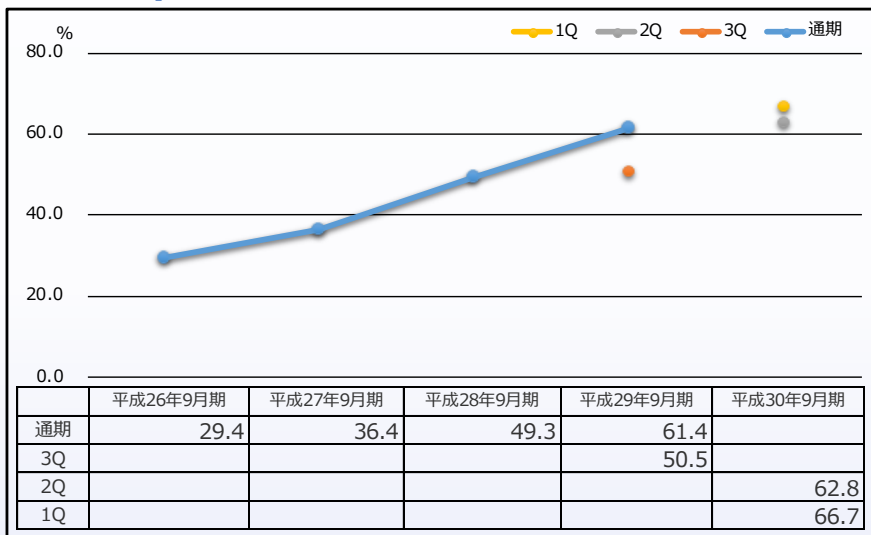
総資産



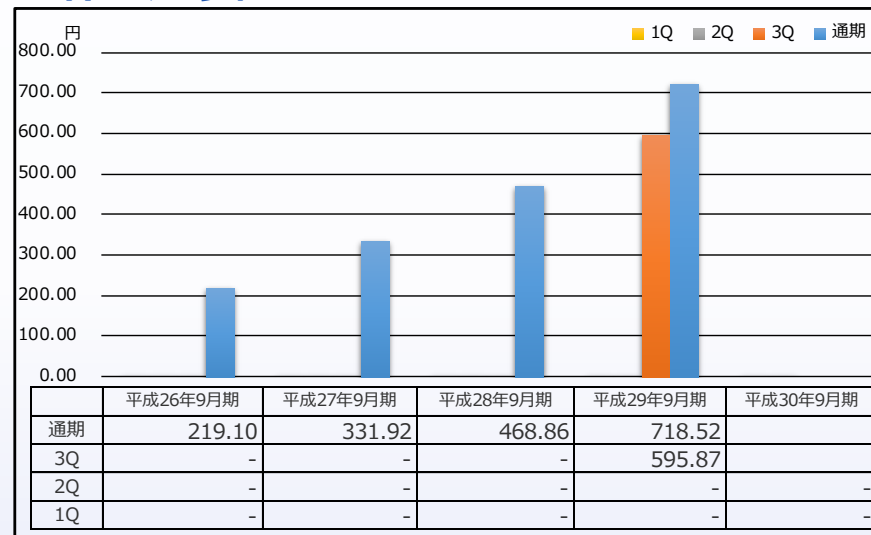
純資産



自己資本比率



1株当たり純資産



※第2四半期(2Q)は、第1四半期から第2四半期までの累計情報です。

※第3四半期(3Q)は、第1四半期から第3四半期までの累計情報です。

平成30年 東証二部に市場変更申請

平成29年 9月 東証JASDAQ(スタンダード)に株式を上場
 平成29年10月 ソリューション・ビジネス立上げ

平成25年4月 組込系開発サービスを開始

平成24年10月 基盤構築サービスを開始 / 大手通信キャリアと取引開始

平成17年7月 大手ホテルと取引開始

平成10年4月 大手生命保険会社と取引開始

平成4年8月 業務系システムサービス
開発業務を開始

事業コンサルティング
業務を開始

昭和61年
(1986年)
10月 設立

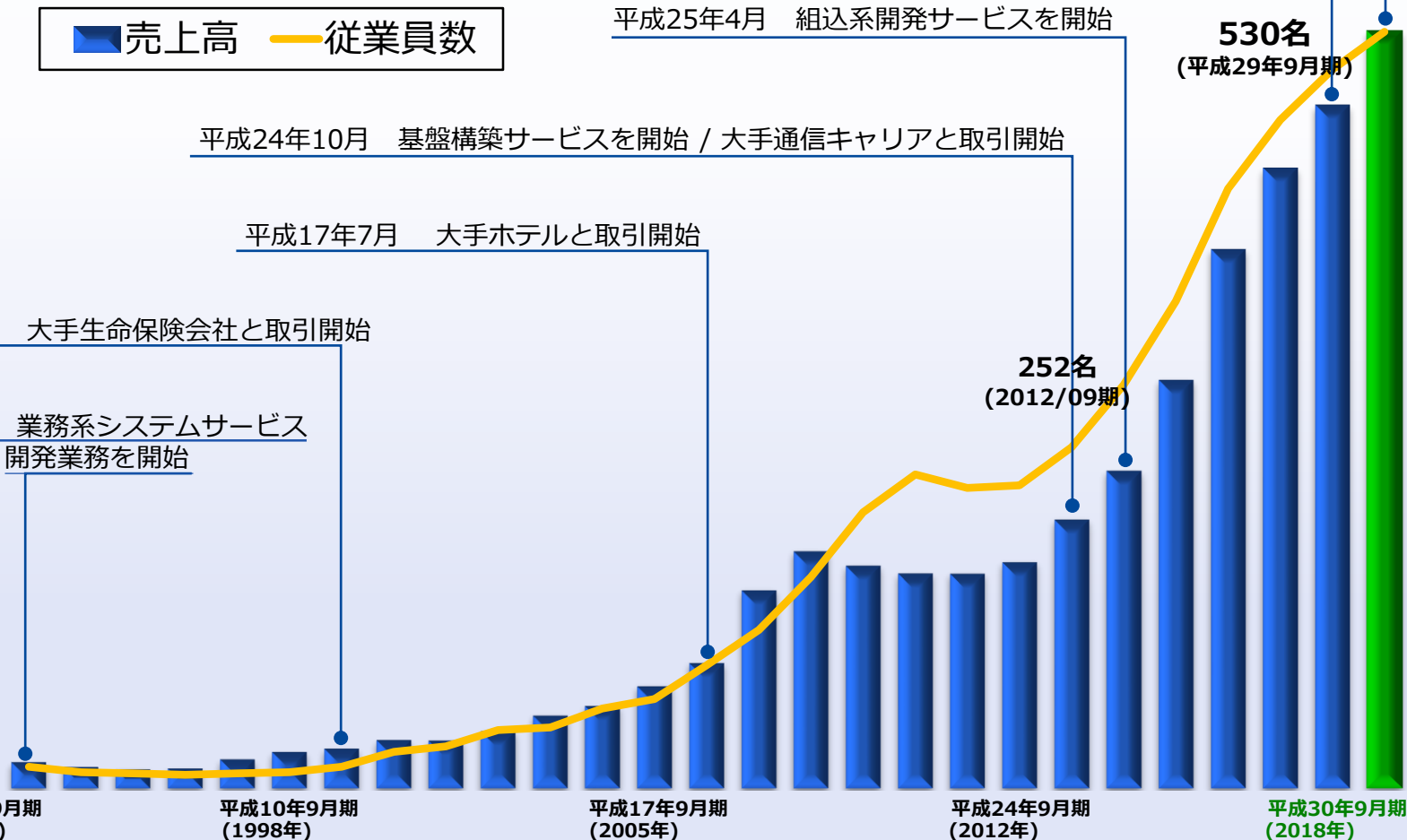
平成4年9月期
(1992年)

平成10年9月期
(1998年)

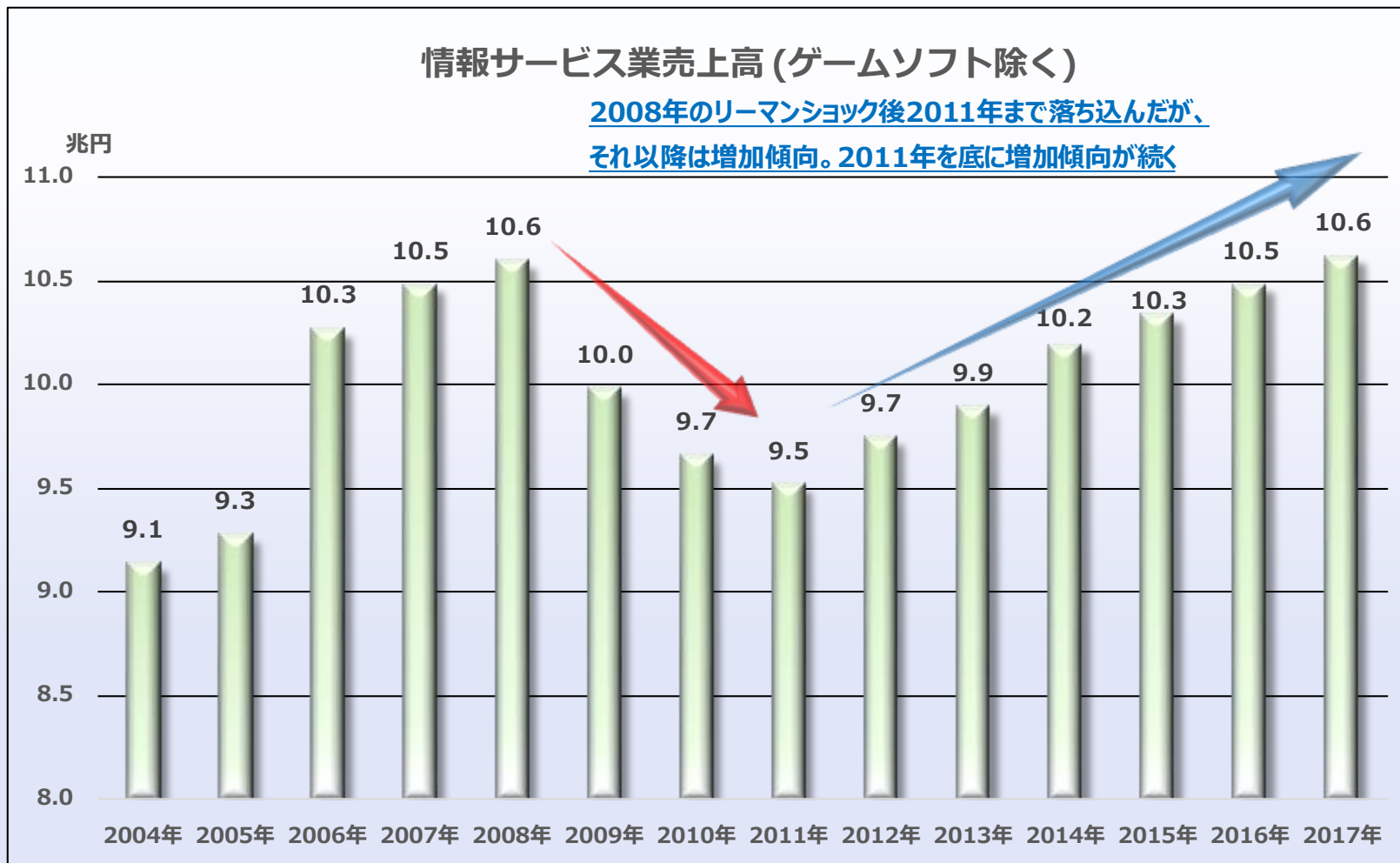
平成17年9月期
(2005年)

平成24年9月期
(2012年)

平成30年9月期
(2018年)



情報サービス業の市場規模は約10.6兆円(2017年)
 このうち、当社が属するソフトウェア開発・プログラム作成が、約70%の約7兆円超



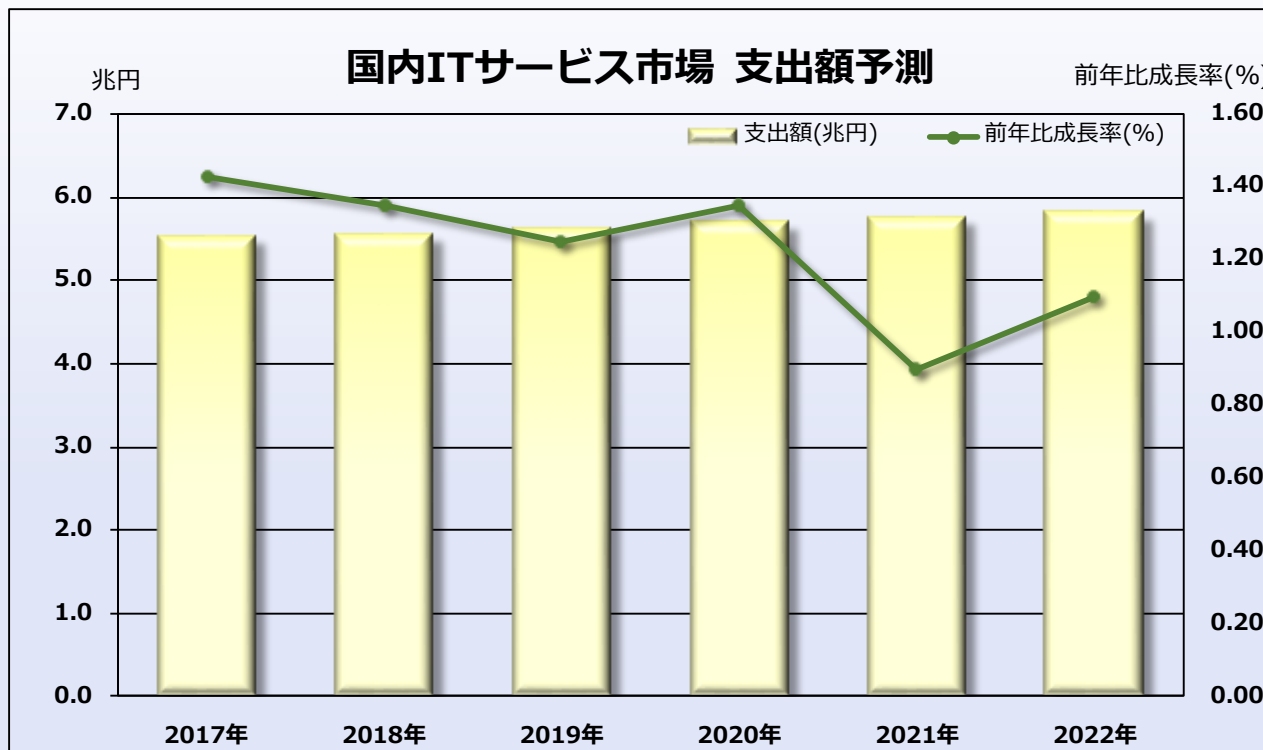
出所：経済産業省「特定サービス産業動態統計」よりゲームソフト売上高を除いた数字で作成。

国内ITサービス市場予測では2022年までの平均成長率は1.1%

当社が属する情報サービス産業(国内ITサービス市場)は、IT専門調査会社のIDC Japan株式会社の調査資料「国内ITサービス市場予測」(平成30年2月26日)によると、製品別に、ハードウェア市場、パッケージソフトウェア市場、ITサービス市場で構成されており、当社事業はITサービス市場に属します。

同社の市場予測資料によると、平成29年(2017年)のITサービス市場の規模は5兆5,389億円と推定され、今後は、クラウド、ビッグデータ、IoT、フィンテックなどの技術革新の進展に伴いIT投資が増加するものと予測され、平成34年(2022年)まで年間平均成長率1.1%で推移するものと予測されます。

この国内ITサービス市場の成長を受け、当社の3つのサービスラインも需要が継続して増加するものと考えています。



出所：IDC Japan株式会社「国内ITサービス市場 支出額予測、2017年～2022年」

NeedsWell

IRに関するお問い合わせ先

株式会社ニーズウェル
総務部 IR担当

TEL : 03-5360-3671

FAX : 03-5360-1658

E-mail : ir-contact@needswell.com

URL : <https://www.needswell.com/>

本資料における注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。